

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)	所在地	伊勢市二見町松下1335
指定管理者名	二見しょうぶロマンの森維持管理組合	指定期間	H29/4/1~R4/3/31
設置目的	農村地域資源を活用し農村の活性化を図る。		
業務内容	・民話の駅蘇民の運営、維持管理。 ・地元の農産、水産等の活性化。 ・管理業務報告を随時市役所に報告している。 ・例年は、年2回総会を行っているが、コロナ対策により書面にて確認。		
施設概要	施設面積478㎡(事務所・研修室・調理室・売り場)		
職員体制	役員4名/駅長1人・事務員2人・パート11人/しょうぶ園園長1人・パート4人		
施設所管課名	農林水産課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	4,995,470	5,041,300	5,041,300	0
		利用料金	0	0	0	0
		その他	148,132,430	151,902,297	148,215,381	△ 3,686,916
		計(a)	153,127,900	156,943,597	153,256,681	△ 3,686,916
	支出	人件費	30,826,957	30,356,628	30,216,629	△ 139,999
		管理運営費	124,122,444	127,614,739	122,916,816	△ 4,697,923
		その他	0	0	0	0
		計(b)	154,949,401	157,971,367	153,133,445	△ 4,837,922
	収支差引額(a)-(b)		△ 1,821,501	△ 1,027,770	123,236	1,151,006

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	複合機、防犯カメラ、ショーケース1台、リース終了につき、使用量が減少。
----------------------------------	-------------------------------------

3 評価(別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
令和3年度の税込総売上は146,542,279円であった。前年度に対し、3,533,100円の減額。主な要因として、出荷者の高齢化、後継者不足が考えられる。特に水産の部門では下降が著しい。(前年に対し町内水産では△235万円ほど、町外水産では△455万円ほど)新たな取り組みとして、7月から地元のブランドポークの販売を行っている。徐々に売り上げを伸ばし、さらに冷食の追加も加え月に50万円以上の売上がある。今後とも売上増加に繋がる様な新たな商材を検討していきたい。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた管理を行っており、集客のためイベントなどの取り組みを差し控えた状況となっている。出荷量の減少や経費の負担増が懸念されるなか、継続して利用者増加に向けての対策を検討し、サービス向上に努められたい。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	理解した上運営を行っているが、不明な点が発生すれば、その都度市役所に連絡し、指示を受けた。	B	市の施設であり、基本方針に対する理解をより深めていただきたい。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	新型コロナウイルス対策の範囲で行った。農産、水産の出荷物の減少を補うため加工品の部門に着目し、品目を増やす事を検討している。	B	出荷量の減少がみられるとのことで、一部対策を講じられているが、今後も検討を進められたい。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	売上の減額に伴い前年に対し、1%程少ない。	B	利用者数は微減にとどまった。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	適正に行われた。	A	事業計画どおり運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	勤務表により、職員の配置、公休は明確であり、急な人員の増減にも速やかに対応された。	A	職員の配置等、適正であった。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	連絡は十分行われていた。	A	連絡は密になされている。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	連絡は十分行われていた。	A	管理記録等は整備・保管されている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	新型コロナウイルス対策のためイベントは自重された。ホワイトボードや貼り紙、ホームページを多用し情報の拡散に努めている。	B	新型コロナウイルスの影響下であり、地域住民等との交流は困難であったと思われる。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		研修室の利用はなかった。		使用許可等の実績はない。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。		研修室の利用はなかった。		研修室の使用に対する利用料金の徴収等がなかった。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	保管している。特に重要と思われる物は金庫に保管した。	A	個人情報の管理等の取扱いは適正に行われている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	遵守した。	A	施設管理上、関係法令は遵守していると思われる。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	しょうぶやハスの開花状況をインターネットやファックスで各事業所へ報告した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響下であり、可能な範囲で利用者数の増加の取り組みを行った。		
	②利用者の平等な利用	A	週1度の打ち合わせの中で情報共有を図り、サービス水準の確保を図った。	A	伝言メモにて情報共有を行い、利用者に対するサービス水準は確保されている。		
	③適切な情報提供	A	ホームページや、入口のホワイトボードにて新しいソフトクリームや季節のお餅、おこわの紹介や、求人情報の提供をした。	A	HP等を活用し、情報発信している。		
	④非常時・緊急時の対応	A	店内に、緊急避難時の防災マップを提示している。緊急避難マニュアルも作成済み。	A	緊急避難マニュアルを作成し、従業員の避難訓練を実施するなど適切に対応されている。		
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	適切に対応した。出荷者より販売品荷受書の提出を求め、適切な管理を行った。		
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	野菜や水産物のレシピを掲示したり、プリントして自由に手に取れるようにした。	A	個々の利用者ニーズには対応しているが、利用者ニーズに即した自主事業の内容を明確にしていく必要がある。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	管理業務報告書を作成、市役所に提出し、月例役員会で協議した。しょうぶ園では、人員不足のため、役員が作業に参加し整備を行っている。	B	役員会等でも検討いただいているが、さらなる取り組みに努められたい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的にメンテナンスし、適切に管理されている。安全性の面では業者にも依頼している。	A	適正に管理されている。老朽化してきている設備については、保守点検等の計画にも取り組まれたい。		
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品の管理等適切に行われた。	A	破損や紛失がなく適正に管理されている。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	機械等、保守点検に加え異常があれば速やかに専門の業者に依頼した。	A	異常があった場合の市への報告は迅速であり、適切な措置を講じている。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	毎日、朝夕の掃除は行っているが、汚れやすい魚の冷蔵庫の前や花売り場など注意しながら再度清掃を行った。	A	こまめに清掃が行われていた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は定められた場所に保管し、厳重に戸締りした。	A	鍵の管理は適正であり、防犯に関するトラブルは発生していない。